

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 7 月 9 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

まずは、5563 日本電工の週足チャートをご覧ください。

これは言うまでもなく**前回の 1 波動と今回の 1 波動が対等**になったケースです。(去年 10 月高値 208 円から今年 1 月安値 151 円までの日柄は **15 週**。その 1 月安値から 5 月高値 241 円までの日柄も **15 週**)

もう 1 つ前の波動から見ますと**前回の 2 波動を合計した日柄と今回の 2 波動を合計した日柄が対等**だということがわかります。(去年 9 月安値 142 円から今年 1 月安値 151 円までの日柄は **21 週**。その 1 月安値から 6 月安値 181 円までの日柄は **22 週**。《誤差 1 週》)

このように「過去の相場に費やした日柄は今後の相場に強く影響する」とは本当によく言ったものだと思います。(前回までのレポート参照)

こうした理論を**対等数値**というわけですがそのパターンは様々です。いくつか図に示しておきますので参考にして下さい。

(無料レフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552



Alpha Chart 社

参考図 1



前回の 3 波動と今回の 1 波動が対等

参考図 2



前回の 1 波動と今回の 3 波動が対等

参考図 3



前回の 3 波動と今回の 3 波動が対等等などいくつかあります

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。